



また一緒に公園のブランコで遊ぶ日を、男性は待ちわびている

## 別居・離婚

### 引き離された親子

夫婦の別居、離婚によって、ないがしろにされがちなのが子どもの立場だ。このため、民法766条が2年前に改正され、離婚した場合の面会交流や養育費などについて、子の利益を最優先にして決めなければならない、と明記された。ただ、現実には感情的な問題などから双方できちんとした話し合いができません。夫婦の別れが親子の別れにつながるケースも少なくない。子どもと引き離された親たちの苦悩や支援の動きを通じて、今後の課題を探った。

(生活文化部・越中谷都子)

#### 妻がDV被害届

机に並べた数枚の写真には、仲良そうに遊ぶ幼いきょうだいが写っている。高城真内に住む30代男性は毎朝、「今日も元気に通すんだよ」と写真に話し掛け、2人の一日の無事を祈りながら出社するのが、日課になった。

#### 失われた日々

昨年の初夏のことだった。男性が残業を終えて帰宅すると、寝ているはずの妻と子どもが人

の姿はなかった。何かあったのか。不安にかられて最寄りの警察署に行く。奥さんからドメスティックバイオレンス(DV)の被害届が出ている」と言われた。

夫婦げんかはあったが、DVは身に覚えがなかった。何日たっても何の連絡もない。食事も喉を通らず、眠れない状態の

## 写真の子どもどこで何を

#### 伝えられぬ思い

突然いなくなった日から、子どもがどこで、どう暮らしているのか分からないまま。手元にある写真が、調停の場で妻の代

り訴えた。

「おばあちゃんとして、孫に愛情をかけてやれないことが悲しい。苦しむ長男を見ているのもつらい。息子と同じ立場の人が笑顔で暮らせるようにしたい」。笹さんの願いだ。

#### 増える面会交流調停

子どもに会いたいと家庭裁判所に面会交流調停を申し立てる人が、全国的に増えている。

司法統計によると、家裁の新規受理件数は、2000年度の2406件から、12年度は9945件と約4倍になった。東北6県では2000年度178件だったのが、12年度は568件に増えた＝グラフ＝。

離婚問題に詳しい仙台弁護士会の土井浩之弁護士は背景の一つとして「共働きが増え、夫が積極的に子育てに関わるようになったこと」を挙げる。「母親が親権を持つケースが多い中で、子どもと会いたいと願う父親が増えたのではないかとみている。

